令和７年駒ヶ根市教育委員会第２回定例会　次第

令和７年２月２８日（金）午後２時
駒ヶ根市役所 保健センター２階 大会議室

1　開　会

2　教育長報告　P1

3　事業報告及び事業計画　P3
・臨時教育委員会　2月28日（金）定例会終了後　保健センター2階　大会議室
・定例教育委員会　3月26日（水）午後２時　保健センター2階　大会議室

4　審議案件
議案第１号　令和７年度予算概要について　P5
議案第２号　令和６年度補正予算について　P18

5　協議事項
（１）令和６年度教育委員会表彰について　P22
（２）第３次駒ヶ根市教育振興基本計画について
（３）来年度学級編成について【非公開】　別紙

6　報告事項
（１）公民館長の任命について　P23
（２）行事共催等承認申請の専決処分について　P24

7　その他
（１）校長の離任と着任における教育委員の任務について　P25

8　閉　会

令和6年度　第11回駒ヶ根市定例教育委員会　2月28日(金)

『何はさて　命大事の　春寒し』 尾崎紅葉

季語：春寒し（春）
意味：何はともあれ命は大事だと立春過ぎてからの寒さを感じたよ。
❤春は出会いの季節であり別れの季節。
何はともあれ、どなたも命を大切にして生きていきたいものです、志を新たにして…

◆先達の教え１　育つ環境をつくり、古の技と心を伝える　小川三夫（(株)鵤工房　総棟梁）

○今の社会は、「自分がよければいい」「自分の仕事や役割はここまで」という考え方が目立つ。
○私も弟子たちも、新人に手取り足取り教えることはない。本人が気づき、やりたいと思うことが大事。それが自分で学びたいという気持ちにつながる。**育てるのではなく、育つ環境をつくることが重要**だ。

○今の能力より少し上の仕事を任せて伸ばす。これは西岡棟梁のやり方。**任せたら、弟子のやり方にあれこれと口を挟まない。**
○棟梁というのは、まさにその責任を負うということだ。リーダーにも色々ある。やはり「あの人のようになりたい」と思われる、自然と上に担がれるような人間でなくちゃだめ。**やはり面と向かって教えるのではなく、背中で教えるようなやり方でないと**いけない。
○**「教える」は入り口でしかない。もっと深く入るためには「教えない」ことが大切。最後はほうっておく**んだ。ほうっておくと、向こうから一生懸命になって追いかけてきたりする。「ほっとけ、ほっとけ、仏の心」これは私がつくった言葉。ほったらかしとは違う。ほうっておくほうが意外に大変だったりもする。
○今のような道具がなかった時代、木を運んで建物をつくることがどれほど大変だったか。それをつくった人はすごいと感じ取れる人が増えてほしい。そのためには、**自分の意志で何かに挑んでみる**ことが大切だ。

❤　西岡常一棟梁の弟子だけあって、含蓄のある言葉が並びます。これらは教育の世界にも通じることだと唸ってしまった。「育てるのではなく、育つ環境をつくる」「任せたら、弟子のやり方にあれこれと口を挟まない」等はまさにそれではないでしょうか。内から育つ環境づくりであり、弟子を子どもに置き換えれば、子どもに面対する教師の心構えを指摘していると理解できます。「『教える』は入り口でしかない。もっと深く入るためには『教えない』ことが大切。最後はほうっておく」この言葉は、放任することとは違います。先の見通しを持ち、生徒を信じ抜く度量が求められることに繋がります。

単に、それは職人さんの考えだと捉えることは早計です。教員こそ、職人気質の心持ちで臨まなければ、これからの世の中、通用しないのではないでしょうか。

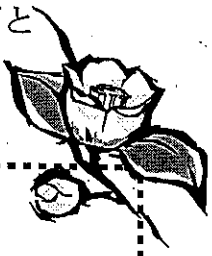
◆先達の教え２　個々のよさが響き合うクラス運営　大豆生田啓友（玉川大学教授）　日本教育新聞 1/27付け

○最近、個別配慮の必要な子がクラスに何人もいて、保育がとても大変だという声を聞くことがある。
○ある日のこと、ユウマが「いらっしゃいませー」と一人つぶやく声が聞こえた。そこで保育者が「何屋さんですか？」と聞くと、「牛丼屋さんです」とのこと。「これはおいしい牛丼ですね」とユウマの遊びに付き合い出すと、他の子たちも興味を持

って参加し始めたという。
○個別配慮の必要な子どもの「気になる行動」に着目するのではなく、その子の声や興味・関心、あるいは「よさ」に着目することで、その子の存在が保育者から認められるだけでなく、他の子たちからも関心を持ってもらうことにつながり、自尊感情が高まり、他の子どもも協調して行動する姿が見られるようになることがある。
○個別配慮の必要な子が多いクラスは大変ではあるが、その子のマイナスな姿ではなく「よさ」を生かすことで、クラス全体が活気立ってくることがある。

❤ これは、幼保だけの問題ではありません。小中学校でも着目すべきことがたくさん含まれています。「個別配慮が必要な児童生徒がとても増えてきた。一人でも多くの支援員や補助教員をつけなければやっていかれない」と自分の力量を諦めてしまっているところはないでしょうか。この例の保育士の所作や目の付け所はどの幼保でもしていることでしょう。

違いは何か。駄目な子、気になる子というレッテルを貼って接するのではなく、その子の「よい」点に目をつけたら、それを他の園生に広げているところです。仲間に認められることは、保育士に認められると同等かそれ以上にうれしいことだと言うことです。小中学校でも通用するとは、そのことです。マイナス思考の接し方から、プラス思考の接し方への移行を大いに検討したいものです。



◆考えさせられたこと1

心に響いた父の言葉　アグネスチャン

1「迷ったら一番難しい道を選びなさい」
「難しい道を選んだら、失敗しても学ぶものは多い。成功したら、喜びが大きいよ」
「やらないと喜びも少ない。後悔するかもしれない」「やってみれば、きっとわかる」
2 親から受けた教育
「お金や名声は流れもの、奪われるもの。でも、一度頭の中に入った知識は一生の宝、誰からも奪われない」「勉強できるときには、ありがたく勉強しなさい」

❤ すべて何でも難しい道を選ぶという使命のように取ると苦しくなります。でも、できるだけそうした道を選ぶことの方が、長い人生には意義深く働くことが多いでしょう。すぐには答えが出ないけれど、楽なことばかり選ぶ人生では、充実感も満足感も少ないというわけです。苦しくても勉強できるときはありがたく勉強せよという言葉も、全くその通りです。今の時代、言えるかどうかだけの問題かも…。

◆考えさせられたこと2

○チャンスの神様には、前髪しかない。この神様、名前をカイロスという。とても言い瞬間とかいいタイミングといったことを表す言葉。チャンスの神様が過ぎ去る前に、前髪をつかんでほしい。

❤ 通り過ぎてしまったらもうつかめないのがチャンス。頭で分かっていてもなかなか実践に繋がらないことが多い。でも、諦めないで、悔いの無いようにつかみに言ってほしいものです。高校受験、間近です。

≪ちょっと立ち止まって≫「内から育つ」姿を求めて※最近の教育関係の様子、新聞、駒ヶ根の子どもの様子、資料

○　雪が路面に残っている２月、月曜日の朝。兄弟二人が正面から歩いてくる姿があった。兄は中学生。弟は小学１年生。兄は弟の頭にそっと手を乗せ、何かを語りかけている。寒いのか弟は下を向いたまま聞いている。「歩道を歩かなきゃダメだよ」と聞こえたが、もしかしたら違うかもしれない。しかし、私が正面から来るのは見えていたので、二人して歩道から道路に移動しようというような素振りも見られた。

私が譲ってよかったと思った瞬間だった。この微笑ましい姿も何気なく兄から弟へ繋がっていくと思うと、うれしくなってきた。親より兄弟のことを聞くのは、昔も今も同じかと思いながら、すれ違った。

2月分　教育委員会事務事業計画

2025年2月27日

	曜日	時刻	事業内容	摘要
1	土		磐田市教育委員会との事業懇談[磐田市]	教育長、次長、子ども課
2	日	13:30	スポーツ少年団交流大会[泰成スポーツフロア]	教育長、社会教育課
3	月	16:00	学力向上検討委員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、子ども課
		18:00	伊那新校懇話会[伊那市役所]	教育長
4	火	9:30	市内校長会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、両課長、子ども課
		19:00	青少年育成委員会後期総会[南庁舎大会議室]	教育長、社会教育課
5	水	10:00	19市スポーツ担当課長会議[WEB]	社会教育課
		13:00	給食財団理事会[保健センター]	教育長、子ども課
		17:00	区長会[市役所第5会議室]	教育長
6	木	15:00	天竜村かっぱ広場運営委員会[かっぱ館]	教育長
		17:30	市職労保育所対策部所属長懇談[保健センター]	次長、子ども課
7	金	15:30	新入学児童への通学かばん・サードブック贈呈式[東小]	市長、子ども課
8	土			
9	日			
10	月	10:00	庁議[市役所大会議室]	教育長、次長
		13:00	新規採用職員への講話[市役所大会議室]	教育長
11	火			
12	水	9:00	部課長会[市役所大会議室]	教育長、次長、両課長
		10:00	南部連絡会(伊那養護)[保健センター大会議室]	教育長、子ども課
		13:15	文化財団理事会・臨時評議員会[文化センター]	教育長、次長、社会教育課
13	木	15:30	不登校児童生徒支援委員会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
		19:00	体育施設利用説明会[南庁舎大会議室]	社会教育課
14	金	15:00	図書館協議会[文化センター]	教育長、次長、社会教育課
		13:30	給食財団臨時評議員会[保健センター]	教育長、次長、子ども課
15	土			
16	日	13:00	スポーツ少年団指導者協議会研修会[南庁舎大会議室]	社会教育課
17	月	15:30	特別支援教育コーディネーター連絡会[保健センター]	教育長、子ども課
		15:00	駒ヶ根工業高校学校評議員会[駒工]	次長
18	火	18:30	スポーツ推進審議会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、社会教育課
19	水	10:00	議会全員協議会	教育長、次長
20	木	10:00	3月議会開会	教育長、次長
		13:30	県青少年補導委員会・補導センター協議会理事会[ZOOM]	社会教育課長
		15:30	幼児幼年教育研究会[保健センター大会議室]	教育長、次長、子ども課
21	金	13:30	上伊那社会教育委員会連絡協議会[伊那合庁]	社会教育課
22	土			
23	日			
24	月			
25	火	18:30	第12回信州駒ヶ根ハーフマラソン大会第1回実行委員会[南庁舎大会議室]	次長、社会教育課
26	水	18:30	部活動地域移行協議会役員会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、両課
27	木			
28	金	10:00	上伊那市町村教委[伊那合庁]	教育長
		14:00	定例教育委員会・臨時教育委員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、両課長

3月分　教育委員会事務事業計画

2025年2月27日

	曜日	時刻	事業内容	摘要
1	土	9:00	チャレンジチャンピオン大会[泰成スポーツフロア]	社会教育課
		10:00	駒ヶ根工業高校卒業式[駒工]	次長
		18:00	赤穂高校定時制卒業式[赤穂高校]	教育長
2	日	13:30	駒ヶ根子ども音楽祭[文化会館]	教育長、社会教育課
3	月	15:00	年間事業計画調整会議[保健センター大会議室]	子ども課
4	火	13:30	市内園長会[保健センター第1会議室]	子ども課
5	水	10:00	文化財団館長会[文化センター]	社会教育課
		18:00	調べる学習コンクール表彰式[図書館]	教育長、社会教育課
		18:30	スポーツ協会理事会[南庁舎大会議室]	次長、社会教育課
6	木	9:00	一般質問[議場]	教育長、次長
7	金	9:00	一般質問[議場]	教育長、次長
		18:30	休日部活動地域移行協議会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、両課長
8	土			
9	日			
10	月	9:00	市内校長会[保健センター大会議室]	教育長、次長、両課長
		14:30	赤穂南小十二天の森活動報告会[南小]	教育長、社会教育課
11	火	9:00	議会委員会[市役所第5会議室]	次長、両課
12	水			
13	木	18:30	スポーツ少年団本部員会[南庁舎大会議室]	次長、両課長
14	金		市内小学校卒業式	教育委員、教育長
		9:00	議会予算特別委員会[第5会議室]	次長、両課
15	土			
16	日			
17	月	9:00	庁議[市役所大会議室]	教育長、次長
		9:30	伊那養護学校卒業式[伊那養護学校]	教育長
18	火	16:30	臨時園長会[保健センター]	子ども課
19	水		市内中学校卒業式	教育委員、教育長
20	木			
21	金		公立後期選抜発表	
		10:00	議会最終日[議場]	教育長、次長
		13:30	部課長会[市役所大会議室]	教育長、次長、両課長
22	土			
23	日	9:00	上伊那レディース卓球大会[泰成スポーツフロアー]	教育長
24	月	9:00	庁議[市役所大会議室]	教育長、次長
		14:00	十二天の森整備活用委員会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、社会教育課
25	火	13:30	転退職教職員送別の会[南庁舎大会議室]	市長、教育委員、教育長、次長、両課長、子ども課
26	水		保育園幼稚園卒園式[各保育園幼稚園]	子ども課
		14:00	定例教育委員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、両課長
27	木			
28	金	9:00	庁議[市役所大会議室]	教育長、次長
		14:00	日本ホッケー協会ホッケータウン認定式[市役所大会議室]	市長、教育長、次長、社会教育課
		19:00	駒ヶ根子ども音楽祭実行委員会[赤穂公民館]	社会教育課
29	土			
30	日			
31	月	10:00	退職者送別式[市役所大会議室]	全職員

政策1-1 未来を担うひとづくりを進めます

【総合戦略Ⅲ-(1)-② 妊娠期から子育て期の切れ目のない支援】
【総合戦略Ⅲ-(2)-① 子育ての負担軽減への取組】

1 妊娠期から子育て期の切れ目ない支援

R7.2
子ども課

めざす姿 子どもを望む全ての人が安全安心な妊娠・出産・楽しい子育てができ、子どもたちが健やかに成長発達している。

	推移(R6見込み)						目標	
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
安心して子育てできる支援が整っている	3.25p	－	3.28p	－	3.22p	－	－	3.50p
この地域で今後も子育てをしていきたい人の割合	93.6	94.1	96.3	96.4	97.8	97.9	97.9	96.0
乳幼児健診の受診率	97.4	95.0	97.8	97.9	98.6	98.7	98.8	99.0

7年度のポイント
①妊産婦の健康への支援の充実
②乳幼児の健やかな成長発達を促す支援
③発達特性をもつ子どもの早期発見・早期療育を推進

① 妊産婦期の健康支援

■ 妊婦一般健康診査支援事業 継続 【予算額 21,844千円】

妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、妊婦一般健康診査、妊婦歯科健診の補助を行います。
・妊婦健診受診票の発行 1人当たり14回分 127,740円

■ 低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業 継続 【予算額 20千円】

低所得の妊婦への妊娠判定にかかる産科受診費用補助を行います。 1人上限10,000円

■ 妊婦の健康保持の支援・不安の軽減

・母子健康手帳の交付

面談を通じて妊婦の生活状況を把握しながら、健康診査受診の勧奨、体づくりのための生活習慣等保健指導を行います。支援の必要者には支援計画を作成し、医療機関等と連携を図りながら継続した支援を行います。

母子健康手帳の交付人数 (R6見込み)

年度	R2	R3	R4	R5	R6
人数	217	213	185	174	174

・母親学級・パパママ教室・妊娠8か月教室

妊娠から出産・子育てまでの母子の心身の成長の理解を深め、妊娠中の身体管理方法、不安の軽減、親となる心構えと育児の実際について伝え、円滑な育児開始を図ります。

■ 産後ケア事業 拡充 【予算額 1,085千円】

医療機関や助産所に宿泊・滞在し、産後の身心のケア、育児不安等の軽減、育児手技の獲得等を図るための保健指導を受ける費用の一部を助成します。令和7年度から、訪問による産後ケアも助成の対象とします。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
利用延日数	12	7	13	5	25

(R6見込み)

■ 産婦健康診査支援事業 継続 【予算額 1,800千円】

産後間もないお母さんのこころと身体の健康と産後うつ病の予防/早期発見等のため、産婦健康診査の費用の一部を助成します。 1人上限5,000円/回×2回

■ ほほえみ支援事業（不妊治療費助成金） 継続 【予算額 2,500千円】

不妊に悩む夫婦の精神的、経済的負担を軽減するため、不妊治療に要する費用の一部を助成します。
（令和4年度から、不妊治療は保険適用、市助成額の上限を10万円から20万円に引き上げ）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
申請件数(件)	46	36	23	18	20
助成額(千円)	3,305	2,731	2,426	1,226	1,400

(R6見込み)

② 乳幼児の健やかな発達の促し

■ 新生児聴覚検査助成（委託料・補助金）

継続　【予算額　950千円】

すべての新生児が検査を受けられるよう、新生児聴覚検査にかかる経済的負担の軽減のため、検査費用の補助を行います。１人1回上限5,000円

■ １か月児健康診査支援事業

【予算額　1,148千円】

１ヶ月児健診の負担の軽減を図るため、受診券方式による公費負担を行います。

■ 乳幼児健康診査、育児相談

乳幼児期の成長発達を確認し、疾病等の早期発見、子育てに関する不安や悩みの軽減を図ります。

・健康診査：3ヶ月、9ヶ月、1歳6ヶ月、3歳

・育児相談：6ヶ月、12ヶ月、2歳3ヶ月

(法定健診)1歳6ヶ月児健診　(R6見込み)

年度	R2	R3	R4	R5	R6
対象児数(人)	210	209	194	202	175
受診者数(人)	201	202	191	201	174
受診率(%)	95.7	96.7	98.5	99.5	99.5

(法定健診)3歳児健診　(R6見込み)

年度	R2	R3	R4	R5	R6
対象児数(人)	250	227	237	195	194
受診者数(人)	236	222	228	181	184
受診率(%)	94.4	97.8	96.2	92.8	95.0

■ 子どもを健やかに育てる環境づくり

市保健師や助産師、市内産科医療機関または助産所の助産師が全出生児対象に新生児訪問を行います。また、助産師・栄養士等の専門職が子育て支援センターに出向き、気軽に相談できる環境づくりに努めます。

■ 未熟児養育医療給付事業

【予算額 1,300千円】

出生後、指定医療機関へ入院し、養育を行う必要のある乳児に対して、医療の給付を行います。

■ 安全な予防接種の推進

継続　【予算額　64,645千円】

疾病の発生及びまん延を予防し、子どもの健やかな成長支援を図ります。また、より安全で接種しやすい環境づくりのため、全ての予防接種を個別接種により実施します。

【定期予防接種】４種混合、５種混合、２種混合、ＢＣＧ、水痘、麻しん風しん、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、Ｂ型肝炎、ロタ、HPV

【任意予防接種】インフルエンザの感染リスクを下げ、安心して受験に臨めるよう、中学３年生のお子さんのインフルエンザ予防接種費用の一部を補助します。

③ 発達特性をもつ子どもの早期発見・早期療育の推進

■ 児童発達支援事業

継続　【予算額 38,740千円】

発達障がい等心身に何らかの障がいあるいは発達特性を有し、訓練を必要とする児童に対して、日常生活の自立及び集団生活適応力、社会力をつけるための個別、集団の療育訓練を行います。

【児童発達支援施設つくし園　利用延人数】　(R6見込み)

年　度	R2	R3	R4	R5	R6
児童発達支援(乳幼児、園児)	1,987	2,259	2,512	2,196	2,160
放課後等デイ(学童)	329	285	382	455	470
保育所等訪問支援	10	21	65	56	60
タイムケア(障がい児の一時預かり)	61	93	10	1	5

（政策1-1）

2 家庭・地域の子育て力の向上

めざす姿	●様々なニーズに対応した子育てが安心して行える環境が確保され、気軽に相談できる体制や地域も含めた子育て全般に渡るサービスが整っている。 ●児童虐待もなく、不登校などにもつながらない健全な家庭生活が保たれている。

	推移						目標	
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
安心して子育てできる支援が整っている(ポイント)	3.25	－	3.28	－	3.22	－	3.40	3.50
この地域で今後も子育てをしていきたい人の割合(%)	93.6	94.1	96.3	96.4	97.8	93.2	95.0	96.0

7年度のポイント	気軽に子育て支援サービスが受けられる環境を整備し、子育て家庭の心身及び経済的な負担軽減に努めるとともに、子どもに関する相談体制を充実します。さらに、関係機関等と連携し、ヤングケアラーの把握や不登校児童生徒などに対する取組を推進します。

① 子ども交流センター・子どもクラブの運営 **継続**

共働き家庭等の児童が、放課後の安全に利用ができる居場所を提供する。

◆児童厚生員等の報酬、施設維持、ＬＥＤ化工事等【予算額　43,737千円】

◆子ども交流センター利用状況（４館※の平日１日平均利用人数）

年度	Ｒ１	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６（見込み）
人数	174.1	127.9	144.5	136.9	148.6	150.1

※すずらん・三和森・赤穂東・みなみ子ども交流センター

◆子どもクラブ利用状況（２館※の平日１日平均利用人数）

年度	Ｒ１	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６（見込み）
人数	32.4	20.2	26.4	23.1	33.2	36.8

※中沢・東伊那子どもクラブ

② 子育て家庭の支援事業 **拡充**

◆ファミリーサポートセンター事業（託児支援）【予算額　3,133千円】

◆ショートステイ事業（短期宿泊預り支援）【予算額　591千円】

◆ハッピーママサポート事業（家事援助支援）【予算額　300千円】

第２期子育て全力応援！継続事業 **拡充**

◆ファミリーサポート事業利用助成【予算額　2,188千円】

・ファミリーサポートセンター助成事業（会員双方助成）
・ショートステイ初回無料事
・ハッピーママサポート初回無料事業

＜預りサポーター養成講座より＞

③ いい育児の日関連イベント開催事業 **拡充**

◆フリーマーケットや親子で参加できる体験コーナー等【予算額　900千円】

◆公園に飛び出そう！（こどもの公園写真募集と展示）

「5月：青空すくすくマーケット」

「11月：青空すくすく広場」

「1月：しゃぼん玉＆バルーンショー」

④ 子どもに対する相談・支援体制の充実 **継続**

◆家庭児童相談員による相談業務

【予算額　7,405千円】

【家庭児童相談延べ件数】

内容	年度				
	R1	R2	R3	R4	R5
養　護	797	639	501	404	767
育　成	92	161	116	37	75
その他	57	59	31	56	179
合　計	946	859	648	497	1,021

●性格や行動、心身の発達・障がい、家庭環境、虐待などの子どもに関する相談を受け付けます。
必要な場合は、児童相談所等関係機関へつなぎます。(児童虐待は、養護相談の中に含まれます。)

◆教育相談員による相談業務

【予算額　6,709千円】

【教育相談延べ件数】

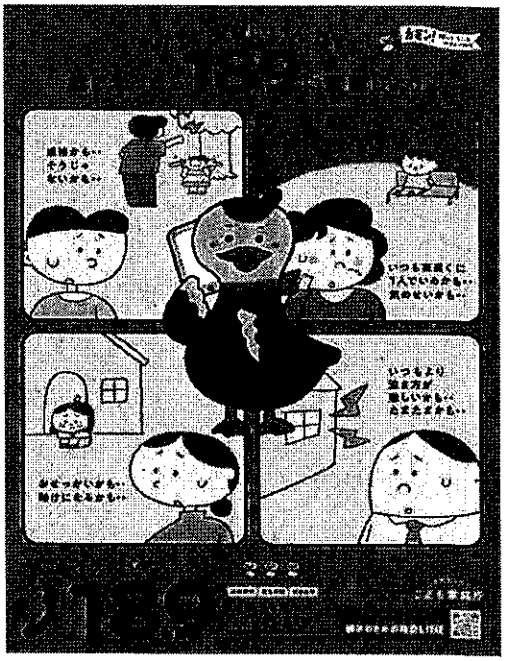
内容	年度				
	R1	R2	R3	R4	R5
不登校	71	150	103	85	51
発達障害	114	95	98	85	39
就学指導	186	177	205	210	231
その他	165	104	150	122	179
合　計	536	526	556	502	500

●いじめや不登校、就学に関する悩みなど教育に関する相談を受け付けます。

◆地域おこし協力隊員の任用 **新規**

「家庭児童相談員」として地域おこし協力隊員を任用し、相談・支援体制を強化するとともに、児童福祉施設や市内の子育て支援サークル等と連携して新たな子育て支援事業の提案・実施を行う。

将来的に市内での児童福祉に関する事業の起業等を目標としている。　【予算額　5,200千円】



⑤ 発達障がい児に対する相談業務・療育支援

◆公認心理師による相談業務等 **拡充**

【予算額　6,650千円】

【カウンセリング等延べ件数】

内容	年度				
	R1	R2	R3	R4	R5
巡回相談	439	167	168	180	138
健診相談	11	12	30	14	25
その他	195	187	206	150	157
合　計	645	366	404	344	320

●公認心理師による保育園・幼稚園の巡回相談や個別相談・発達検査などを実施することで、療育を

●児童相談所に通告・相談ができる全国共通の電話番号になります。
●「189」にかけるとお近くの児童相談所につながります。
● 通告・相談は匿名で行うこともでき、通告・相談をした人、その内容に関する秘密は守られます。
※通話料はかかりません。

3　幼児期の健全育成の推進

R7.2
子ども課

めざす姿

●子どもたちが体を使った遊びを行い、年齢にふさわしい体力・運動能力を身につけている。
●地域の特性を生かした保育がなされ、子どもたちが自然に親しみ、想像力や豊かな感性を身についている。

7年度のポイント

① 子どもの体力向上を推進します。
② 地域に根ざした特色ある取組を進めます。

① 子どもの体力向上の推進　継続

○保育園・幼稚園における運動遊びの推進
　子どもたちの体力や運動能力を高めるため、日常の保育の中に運動あそびを取り入れるとともに、親子で体を動かすことを楽しむ機会を提供し、保育の質の向上を目指します。

○幼児運動能力評価
　引き続き、幼児運動能力評価を実施し、駒ヶ根市の子どもたちの運動能力の現状を把握することで、運動能力向上に向けた保育の取組に生かします。

② 地域に根ざした特色ある取組　継続

公立・私立保育園幼稚園の入所状況と今後の予想（各年4月1日現在・R07は予定）　（単位：人）

	R03	R04	R05	R06	R07
公立保育園（8園）	624	618	573	523	543
公立幼稚園（2園）	72	53	64	51	41
私立保育園（2園）	182	169	163	161	166
私立幼稚園（1園）	64	56	51	42	37
私立小規模保育施設（1園）				12	17
合　計	942	896	851	789	804

○ 未満児保育料の軽減　拡充

- 市町村民税所得割額が57,700円未満の世帯は、第1子は半額、第2子以降を無償化します。
- 市町村民税所得割額が57,700円以上の世帯は、第2子は半額、第3子以降を無償化します。

○ 幼児教育無償化の実施　拡充

- 3歳以上児および3歳未満児のうち住民税非課税世帯の子どもについて保育料を無償化します。
- 3歳以上児の副食費について市で1,800円負担するとともに、市町村民税所得割額が57,700円未満の世帯、または第3子以降の副食費を無償化します。

○ 公立保育園・幼稚園の運営　拡充　【予算額 362,881千円】

- 保育士の確保対策・環境改善　【うち予算額 24,779千円】
  派遣保育士の活用　２名
  長野県保育士移住支援事業の活用　県1/2
  保育補助員の配置　加配補助７名、延長保育補助３名

○ 保育・幼児教育ビジョンに基づく施設整備　新規　【予算額22,779千円】

- 新園舎基本設計・実施設計、赤穂南幼稚園解体工事実施設計

○ 私立保育所・幼稚園運営費　　継続 【予算額258,169千円】
・公定価格に基づく給付費等　　国1/2 県1/4

○ 私立保育所・幼稚園特別保育事業補助金　　拡充 【予算額31,397千円】

（単位：千円）

	福岡保育園	桜ヶ丘保育園	聖マルチン幼稚園	J's保育園駒ヶ根	備考
延長保育事業	4,000	4,000	－	2,000	国県補助2/3
一時保育促進事業	1,200	－	11,340	－	国県補助2/3
乳児保育	510	510	－	－	県補助1/2
加配支援事業	2,388	2,388	－	2,388	県補助1/2
その他特別保育事業	452	221	－	－	
合計	8,550	7,119	11,340	4,388	

○ 未就園児童の子育て支援等　　継続 【予算額60,526千円】

・利用者数の推移（R06は見込み　年間延利用者数：子供の人数）

年度	R01	R02	R03	R04	R05	R06
きっずらんど	3,710	1,334	1,351	2,002	3,327	3,604
まぁるくなあれ♪	6,710	3,488	3,450	2,433	4,139	4,484
一時預かり事業	1,042	805	540	591	814	981

・きっずらんど、まぁるくなあれ♪事業
駅前アルパ「きっずらんど」、経塚支援センター「まぁるくなあれ♪」を設置し未就園児親子の交流支援を図ります。
きっずらんどの土曜日開館を継続します。

・ 地域子育て拠点支援事業・乳幼児一時預かり事業
市内医療機関と連携し、未就園児親子の交流支援や、８カ月未満の乳幼児の一時預かりを実施します。

・世代間交流事業（おじいちゃん先生）

・病児・病後児保育事業
児童が病気の治療中又は病気の回復期にあり、集団保育等が困難で、かつ保護者の就労等により家庭での保育が困難な際に、市内、飯島町の医療機関併設の病児保育室において児童を一時的に預かり、子育てと就労の両立の支援を図ります。

・幼児教育アドバイザー配置
「保育・幼児教育ビジョン」を推進するため、幼児教育アドバイザーを配置し、「内から育つひたむきな子」育成に努めます。

（政策1-1）

4 子どもの食育の推進

R7.2
子ども課

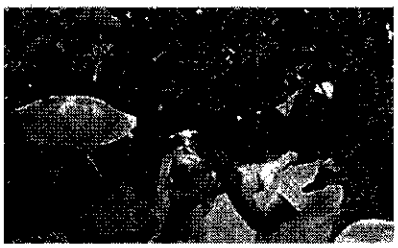
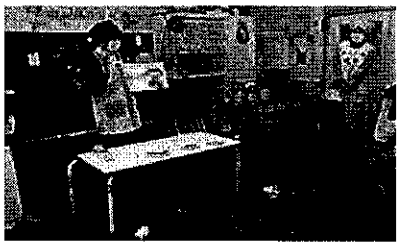
めざす姿	●様々な経験を通じて、食への関心を高め、地域に根差した食に関する知識や健全な成長に必要な食品を選択する力を身につけ、豊かな心を育み、健全な食生活を実践している。

7年度のポイント	① 子ども達が体験しながら楽しく学ぶ食育を推進します。 ② 家庭での食育を推進します。 ③ 「お弁当の日」を推進します。

① 体験しながら学ぶ食育の推進 継続

○園児への体験機会の提供

・園での野菜作り、収穫した野菜の調理体験、給食での行事食や郷土食の提供、親子クッキングなど、体験を通じた園児たちの食への関心を高める取り組みを進めます。

○家庭と共にすすめる食育

園児が望ましい食生活習慣や生活リズム、マナーなどを身につけるために、園の給食や給食だより、食育応援団や親子クッキング等で、共食や朝食の大切さなどの啓発を行います。

② 学校食育の推進 継続

【予算額40千円】

■ 「お弁当の日」のお弁当作り
■ 食育授業・講演会

③ 実態調査

■ 食育アンケート（３年に１回実施（次回令和９年度実施））

【総合戦略Ⅳ-(1)-① JICA・JOCAと連携した世界とつながる教育機会の提供】
（政策1-1） 【総合戦略Ⅳ-(1)-④ デジタルを活用した学校教育環境の充実】

5 学校教育の充実

R7.2
子ども課

めざす姿 確かな学力や体力、豊かな人間性を持ち、自立して生きていける力を身につけ、地域づくりを担っていける子どもたちが育っている。

指標名	推移					目標		
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	→	R8
標準学力調査の目標値を上回った教科数、全国学力・学習状況調査の全国平均を上回った教科数の割合	86.4%	未実施	59.1%	52.2%	18.2%	31.8%	→	80.0%

7年度のポイント
① ICT教育の充実とネットワーク環境の整備
② 学力向上プログラム・外国語学習指導の充実
③ 児童生徒の安全確保の充実
④ 中学生海外派遣による国際人の育成

① ICT教育の充実 継続 【予算額 87,786千円】
- ■ 一人一台端末(2,832台)の活用
  (小学校1・2年生:iPad、小学校3年生～中学生:Chromebook)
- ■ 学習用ドリルアプリ、大型提示装置・書画カメラ等の活用
- ■ 教員の指導力強化とICTリテラシーの向上(ICT支援員配置・ICT研修の実施)
- ■ ICT教育運用・保守等委託(障害対応、修繕、セキュリティ対策、保守等)

③ 学校ネットワークの環境改善 重点 【予算額 23,960千円】
- ■ 無線アクセスポイント増設
- ■ 校務系・GIGA系高速化

④ 教科指導の強化 継続 【予算額 29,517千円】
- ■ 学力向上対策指導主事の配置(子ども課:1名)
- ■ 専科教員の配置((中学校:5名)国語・英語・理科等の個別教科の充実)
- ■ ALTの配置((4名)小学校外国語活動・中学校英語教育の支援充実)

⑤ 不登校児童・生徒の居場所づくり 継続 【予算額 18,956千円】
- ■ 不登校対策指導主事の配置(子ども課:1名)
- ■ 子どもと親の相談員の配置(小学校:2名)
- ■ 生徒相談員の配置(中学校:3名)
- ■ 中間教室適応指導員の配置(子ども課:1名)

⑥ 学習習慣形成 継続 【予算額 64,541千円】
- ■ 特別支援教育支援員の配置(小学校:23名、中学校:2名)
  ▸発達特性のある児童・生徒への支援、個別指導の充実、要介助児童・生徒の対応
- ■ 看護師の配置(小学校:2名)
  ▸病弱児・医療的ケア児への支援

⑦ 標準学力調査・集団適応調査 継続 【予算額 3,459千円】
- ■ 標準学力調査
  ▸全国学力・学習状況調査と併せ小学校3年から中学校3年まで実施
  (小学校:国語・算数、中学1年生:国語・数学・理科・社会、中学2年生:国語・数学・理科・社会・英語、中学3年生:理科・社会・英語)
  ▸児童・生徒の成長の把握とつまずきの発見・克服、指導法の検討と授業改善
- ■ QU調査
  ▸小中学校全学年基本的に年2回実施、学級集団の状態や、子ども一人一人の意欲・満足度などを測定
  ▸学級経営の改善により、いじめ・不登校の防止と学力向上につなげる

⑧ 特色ある学校づくり 継続 【予算額 2,850千円】
- ■ 各学校の教育目標の達成に向けた校長裁量予算
  ▸学力向上や指導力向上、地域に開かれた学校づくりなど、総合的な学習の時間を中核とした特色ある学校運営を校長のリーダーシップにより推進
  ▸コミュニティ・スクールの導入促進、活動充実など

⑨ 中学生海外派遣国際交流事業 拡充 【予算額 4,952千円】
- ■ ネパールポカラ市への中学生派遣交流

⑩ 通学カバン贈呈 継続 【予算額 3,890千円】
- ■ 新小学1年生の希望者に通学カバンを贈呈

⑪ 学校給食物価高騰対策事業 拡充 【予算額22,564千円】
- ■ 学校給食食材値上がり分の補助

【総合戦略Ⅲ-(1)-② 妊娠期から子育て期の切れ目ない支援】
【総合戦略Ⅳ-(1)-② 学校・家庭・地域社会との連携強化による教育力向上】
（政策1-1） 【総合戦略Ⅳ-(1)-③ キャリア教育・ふるさと教育の推進】

⑥ 学校・家庭・地域社会との連携強化による教育力向上

R7.2
子ども課
社会教育課

めざす姿 未来を担う子ども・若者たちが、学校や家庭をはじめ地域社会全体の支援を受けながら、豊かな人間性や社会性を身につけて成長している。

指標名	推移					目標	
	H27	H29	R1	R3	R5	→	R8
家庭・学校・地域が協力して子育てをしている。	3.45p	3.47p	3.50p	3.55p	3.39p	→	3.65p
青少年が心身ともに健康に育つ環境にある。	3.34p	3.37p	3.35p	3.43p	3.35p	→	3.49p

7年度のポイント
① コミュニティ・スクールの推進（地域とともにある学校づくり）
② 学校支援ボランティアの充実
③ キャリア教育の推進

① 学校支援ボランティア 継続 【予算額 1,021千円】

- 放課後学習支援
- 授業支援
- 外国語活動支援
- クラブ活動支援
- 本の読み聞かせ支援

② キャリア教育の推進 継続 【予算額 100千円】

- 産学官の連携強化（キャリア教育推進協議会）
- 職場体験学習
- JICAの学校交流事業
- 郷土愛プロジェクト・キャリア教育かみいな交流会

③ コミュニティ・スクールの推進 継続 【予算額1,400千円】

- 市内全小中学校

7年度のポイント
青少年育成委員とともに、より良い環境づくりを進めます。

① 青少年健全育成事業 継続 【予算額 1,288千円】

●地区子ども会活動推進事業補助
・市内16区にある子ども会の活動を支援する
・地区子ども会活動の交流

●ジュニアリーダー研修
・ジュニアリーダー・シニアリーダー　約30名
・各種研修を実施
・ＶＹＳ会に指導を依頼

●二十歳を祝う会の開催
・8月15日開催
対象者　約350名

ジュニアリーダー研修会

② 青少年育成センター事業 継続 【予算額 706千円】

●青少年育成委員の活動を支援
各区から選出される青少年育成委員34名による青少年育成活動及び補導活動を支援する。
・青少年育成委員活動
　研修会、交流会への参加
　子ども会活動の運営
・青少年の補導活動
　巡回指導、街頭指導の実施
　青少年健全育成協力店推進活動

令和6年度　二十歳を祝う会

政策 1-2 ともに学び、文化やスポーツに親しめるまちづくりを進めます

1 生涯学習の推進

R7.2
社会教育課

めざす姿

●誰もが生涯にわたって自由に学ぶことができ、その成果が地域づくりに活かされている。
●生涯学習施設が、学び・実践・交流していく場所として活用され、望ましい学習態様が構築されている。

	推移							目標
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R8
生涯学習に取り組みやすい(満足度調査)	3.10p	—	3.04p	—	3.16p	—	3.07p	3.27p
図書館や公民館などの利用環境が整っている(満足度調査)	3.55p	—	3.58p	—	3.71p	—	3.65p	3.84p

7年度のポイント

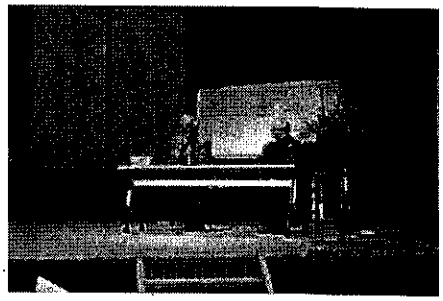
① 多様なニーズや新たな生活様式、ライフスタイルに対応できる学習情報や機会の提供方法を検討し、実践していきます。
② 生涯学習活動を支援します。

① 社会教育総務管理事業 継続 【予算額 3,456千円】

●学習情報の提供(「生涯学習メニュー版」発行など)
●人権教育の推進
● 社会教育委員会活動

② 公民館管理運営事業 継続 【予算額 40,943千円】

●3公民館共同事業の実施
ふるさと講座等の開催、公民館報の発行
●各公民館の管理運営
公民館運営審議会の開催
学級・講座の企画運営による学習活動
分館の活動促進（分館長・主事会の開催）


ふるさと講座

③ ふるさとの丘管理運営事業 継続 【予算額 10,194千円】

●指定管理による維持管理
竹花工業㈱駒ヶ根支店に指定管理を委託し施設の維持管理を行う

④ 十二天の森整備運営事業 継続 【予算額 2,659千円】

●生涯学習の場、保育園・幼稚園の自然体験の場として活用する
整備活用検討委員会の開催
活用イベント等の開催
遊歩道、支障木等の整備
パンフレット作成
森の活用拡充

自然観察会

⑤ 市民農園整備運営事業 継続 【予算額 114千円】

●市民農園の貸出
市民農園　北割２３区画、南割１６区画、計３９区画の貸出し

（政策1-2）　【総合戦略Ⅳ-(2)-④　文化芸術活動、市民スポーツの推進】

2 文化財の保存と活用

R7.2
社会教育課

めざす姿	変わらないものの価値を後世に引き継ぐため、貴重な文化財の調査研究が進められ、有効利用しながら保全に努めている。

	推移（R6は見込み）						目標
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R8
文化財の指定件数	48件	48件	48件	50件	50件	50件	50件

7年度のポイント	① 文化財の保存を図る ② 文化財の有効活用を図る

① 旧竹村家管理運営事業 継続・新規　【予算額　5,762千円】

●指定管理による維持管理

●旧竹村家住宅保存修理工事基本設計委託業務

・令和8.9年実施予定の修理工事に向けた基本設計を行う

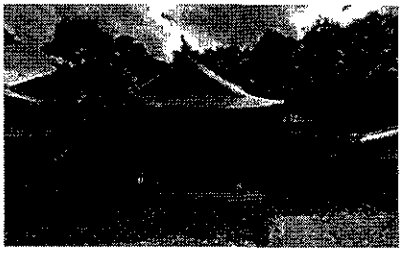
② 文化財保存事業 継続・新規　【予算額　9,967千円】

●文化財の指定、保存及び活用

・文化財審議会の開催

●指定文化財の保存管理

・市所有文化財の保存管理（旧木下家住宅、民俗資料館、赤須城跡、芭蕉の松　等）
・ハッチョウトンボ生息地環境整備
・文化財保存管理等のための人材（学芸員）配置
・県宝小町谷家住宅修理工事補助金（県補助の随伴補助）



名勝光前寺庭園整備活用事業

・名勝光前寺庭園整備活用委員会の開催
・凄いぞ名勝光前寺講座

③ 埋蔵文化財発掘事業 継続　【予算額　147千円】

埋蔵文化財発掘調査委託

・埋蔵文化財包蔵地において緊急的に発掘調査が必要となった場合に実施する
　その後、事業主より調査費を補填させる
・埋蔵文化財包蔵地にかかる保存・保護活動

③ 文化芸術活動の推進

R7.2
社会教育課

めざす姿	多くの市民が多様な文化芸術に触れる機会を持ち、自らも文化・芸術活動に参加をしている。

	推移（R6の利用者数は見込み）						目標
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R8
文化芸術に親しみやすい(満足度調査)	2.97p	－	2.99p	－	3.00p	－	3.27p
文化センター利用者数	134千人	69千人	72千人	99千人	111千人	110千人	170千人

7年度のポイント	① 優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供します。 ② 文化施設の整備を進めます。

① 総合文化センター等の運営　継続・新規　【予算額　623,458千円】

●文化センター管理運営事業（229,916千円）
- 駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、各種事業の実施及び施設の維持管理を行う
- 市民に芸術鑑賞を提供する自主事業の開催
- 伝統芸術文化の継承と保存、文化団体・鑑賞団体の育成と支援
- 駒ヶ根市文化財団職員の人件費補助

●文化センター改修事業（367,758千円）
- 改修基本計画に基づいた屋根・外壁工事の工事（R6繰越）
- 改修基本計画に基づいた空調設備工事（R6継続）

●図書館管理運営事業（18,537千円）
- 駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、図書館運営を実施
- 図書、諸資料の購入による蔵書資料の充実を図ることで、子育て応援にも繋げる。
- 子ども読書活動推進計画によるブックスタート、セカンドブックに加え、小学校1年生対象のサードブックの配布を継続します。
- 絵本巡回事業の実施、おはなし会及びお楽しみ会等各種催し物の開催
- 協働電子図書館事業への参画

●博物館管理運営事業（4,252千円）
- 駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、博物館運営を実施
- 第24回「駒展」及び第10回ジュニア駒展の開催
- 各種企画展示の開催
- 資料の収集整理
- 県宝指定「小町谷家住宅」の資料の整理・保存
- 郷土館展示整理
- 登戸研究所平和資料館展示ガイドの手当

●天竜かっぱ広場管理運営事業（2,995千円）
- 駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、天竜かっぱ広場運営を実施
- ふれあい講座、ミニほっと講座等の開催
- 館収蔵資料・作品による企画展示や特別展の開催
- 竜東地域活性化への協力

② 文化芸術振興事業　継続　【予算額　7,337千円】

●エル・システマ事業（音楽を通じて生きる力を育む事業）
- 市内小学生を対象に、エル・システマのプログラムを活用した弦楽器教室等を開催
- 市内小学校で弦楽器、和楽器、雅楽の「鑑賞教室」の実施

●駒ヶ根子ども音楽祭の開催
- 子どもたちの文化芸術団体の発表の場として開催する。

●文化芸術振興
- 文化芸術推進委員会開催

（政策1-2）　【総合戦略Ⅳ-(2)-④　文化芸術活動、市民スポーツの推進】

4 市民スポーツの推進

R7.2
社会教育課

めざす姿　ニュースポーツ、アスリートスポーツ問わず、すべての市民が求めるニーズに合わせ、それぞれの世代で楽しくスポーツに親しんでいる。

※H24, R4はスポーツ推進計画策定年度 ※H29は第1次計画の中間年度	推移							目標	
	H24	H29	R2	R3	R4	R5	R6	R9	R10
スポーツ少年団の小学生の加入割合	23.4%	22.2%	25.7%	26.7%	25.3%	25.5%	27.2%	30.0%	30.0%
週１回以上スポーツを実施する市民の割合	32.0%	31.0%	－	－	30.7%	－	－	65.0%	65.0%

7年度のポイント
① 生涯スポーツ活動の推進と、環境整備を進めます。
② スポーツを通じて地域コミュニティーの形成を目指します。
③ 国民スポーツ大会に向け、施設整備や競技者増加に向けた取組みを進めます。

① 第12回信州駒ヶ根ハーフマラソンの開催

継続　【予算額　9,099千円】

- 大会を支える市民の皆さんの笑顔あふれる「応援」や「おもてなし」でランナーの皆さんを、お迎えする大会を目指します。
- 「走る人」「応援する人」「スタッフ等支える人」が皆で「楽しむ」大会を目指します。

② かけっこ教室

継続　【予算額　799千円】

- スポーツの基礎となる「かけっこ」を通して、子どもの体力向上やスポーツに親しむ機会を創出します。
- 子どもを通じて、子育て世代への運動機会のきっかけづくりを目指します。

③ 体育施設整備運営事業

継続・新規　【予算額　125,422千円】

- 個別施設計画を踏まえ、計画的な更新、改修、整備を図ります。
  - ・農村交流広場改修工事
    （照明LED化　防球ネット増設）
- 指定管理による体育施設の維持管理を行い、施設・設備・器具など利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに努めます。

④ 国民ｽﾎﾟｰﾂ大会運営・施設整備事業

継続・新規　【予算額　47,600千円】

- 国民ｽﾎﾟｰﾂ大会に向た施設整備を行います。
  - ・ホッケー場照明LED化
- 大会実行委員会の設立・運営
  - ・大会実行委員会の設立
  - ・日本ホッケー協会アンバサダーによるホッケー教室
  - ・全日本選手権ホッケー大会観戦

令和7年第2回(3月)市議会

議案第２号

令和6年度　一般会計補正予算(第12号)の概要

【一般会計補正予算(第12号)予算規模】 324,257千円 (18,857,343千円 → 19,181,600千円)

令和6年度　一般会計補正予算(第12号)

【歳出】

(単位:千円)

No.	課名	区分	内容	補正額		
6	福祉 子ども		**寄附金の整理** いただいたご寄附を基金へ積み立て、今後、寄附者のご意向に沿った事業へ活用します。	補正額		1,350
				特定財源	寄附金	150
					寄附金	1,200
				一般財源		0
				民生費寄附金 教育費寄附金		
13	子ども	新規	**小中学校GIGA系ネットワーク環境の改善** 【繰越明許】 GIGAスクール構想に基づき、市内小中学校の通信ネットワーク速度を改善します。	補正額		2,390
				特定財源	国支出金	683
				一般財源		1,707
				公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金		
14	子ども	追加	**私立幼稚園運営費の追加** 私立幼稚園の運営に対する施設型給付費等について、公定価格の改定に伴う不足見込み分を計上します。	補正額		6,328
				特定財源	国支出金	3,164
					県支出金	1,582
				一般財源		1,582
				子どものための教育・保育給付費国庫負担金(負担率1/2) 子どものための教育・保育給付費県負担金(負担率1/4)		
				歳出補正総額		10,068
				特定財源		6,779
				一般財源		3,289

寄附金の整理

(単位:千円)

項目	寄附目的/(積立てる基金)	寄附額(補正)
民生費寄附金	高齢者福祉へ(ふるさとづくり基金)	150
教育費寄附金	子どもたちが健やかに育つために(教育基金)	1,200

小中学校GIGA系ネットワーク環境の改善

(単位:千円)

区分	内容	補正額
需用費	ネットワーク関連消耗品の購入	137
委託料	ネットワーク設計外	933
備品購入費	ルーター購入	1,320

私立幼稚園運営費の追加

(単位:千円)

対象	補正前	補正額	補正後	備考
マルチン幼稚園外	50,185	6,328	56,513	職員の処遇改善外

【歳入】

（単位　千円）

款	内容				補正額計
	歳入項目	（補正前）	（補正後）	補正額	
国支出金	デジタル基盤改革支援補助金	39,960	28,692	△ 11,268	△ 11,268
	保険基盤安定国庫負担金	25,531	24,289	△ 1,242	△ 1,242
	障害者介護給付費国庫負担金	497,500	500,000	2,500	2,500
	子どものための教育・保育給付費国庫負担金	23,935	27,099	3,164	3,164
	公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金	0	683	683	683
県支出金	保険基盤安定事業県負担金	148,760	147,840	△ 920	△ 920
	母子医療費県補助金	5,550	6,128	578	578
	心身障害者医療費県補助金	34,157	35,059	902	902
	障害者介護給付費県負担金	248,750	250,000	1,250	1,250
	子どものための教育・保育給付費県負担金	11,967	13,549	1,582	1,582
寄附金	民生費寄附金	300	450	150	150
	教育費寄附金	800	2,000	1,200	1,200

歳入補正総額	△ 1,421
特定財源	△ 1,421
一般財源	0

【繰越明許費】

（単位　千円）

款	項	事業名	金額
農林水産業費	農業費	基盤整備促進事業	5,720
商工費	商工費	地域おこし協力隊起業等支援事業補助金	1,000
商工費	観光費	駒ヶ根ファームス火災報知器更新工事	1,870
土木費	道路橋梁費	道路維持事業	8,000
土木費	道路橋梁費	市単道路改良事業	3,200
教育費	教育総務費	GIGAスクール構想支援体制整備事業	2,390

令和6年度 用地取得事業特別会計補正予算(第1号)

【用地取得事業特別会計補正予算(第1号)予算規模】 20,000千円 (106,023千円 →126,023千円)

(単位 千円)

<table>
<tr><th>課</th><th>区分</th><th>内容</th><th colspan="2">歳入補正額</th></tr>
<tr><td rowspan="2">財政</td><td rowspan="2">追加</td><td>負担精算分の予算を追加します。
(単位:千円)
<table><tr><th colspan="2">区分</th><th>補正額</th></tr><tr><td>歳入</td><td>財産売払収入</td><td>20,000</td></tr><tr><td>歳出</td><td>土地開発基金繰出金</td><td>20,000</td></tr></table></td><td>補正額</td><td>20,000</td></tr>
</table>

令和6年度 国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

【国民健康保険特別会計補正予算(第4号)予算規模】 18,903千円 (2,750,735千円 →2,769,638千円)

(単位 千円)

課	区分	内容	歳入補正額	
市民		今年度の事業実績、前年度繰越金、補助金返還金及び保険給付費等交付金返還金の確定に伴い補正します。	補正額	18,903

(単位:千円)

区分			補正額
歳入			18,903
	国支出金	社会保障・税番号制度システム整備費補助金	2,448
	繰入金	保険基盤安定繰入金	△ 2,882
	繰入金	出産育児一時金繰入金	2,009
	繰入金	基金繰入金	△ 10,862
	繰越金	繰越金	12,662
	諸収入	保険給付費等交付金返還金	15,528
歳出			18,903
	上伊那広域連合負担金		706
	出産育児一時金		1,000
	保険給付費等交付金返還金		17,197

令和6年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

【後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)予算規模】 6,014千円 (538,257千円 →544,271千円)

(単位 千円)

課	区分	内容	歳入補正額	
市民		保険料徴収の実績等に伴い歳入歳出を補正します。	補正額	6,014

(単位:千円)

区分		補正額
歳入		6,014
	後期高齢者医療保険料	5,970
	一般会計繰入金	44
歳出		6,014
	上伊那広域連合負担金	44
	後期高齢者医療保険料納付金	5,970

協議（1）

駒ヶ根市教育委員会表彰被表彰候補者一覧

	氏名（団体名）	住所（学校名）	功績概要
1	イヌマ　ユウキ 井沼　佑樹	赤穂中学校３年	R6年度　全国中学校体育大会　第51回全日本中学校陸上競技選手権大会　男子3000m　第13位
2	アカホチュウガッコウ 赤穂中学校 シンタイソウブ 新体操部		R6年度　全国中学校体育大会　第55回全国中学校新体操選手権大会　団体競技　第2位
3	ノサカ　トシヤ 野坂　俊弥	東海大学　体育学部 生涯スポーツ学科　教授	H22年度から現在まで市内の公立保育園と幼稚園の年長児の運動能力を測定し、分析。その結果を基に、運動不足を補う「運動遊び」を提案し、東海大学から講師を派遣するなど、幼児の運動能力向上に貢献。
4	アオト　シンジ 青戸　慎司	中京大学　スポーツ振興部 スポーツ強化・地域貢献課 課長	H25年度、駒ヶ根市の子ども達の50m走の記録が低下。市は青戸氏を招き、H26年度から「かけっこ教室」を実施。H30年度からは市内小学校で子ども達と教員に指導し、50m走の記録が向上。R6年度も活動を継続中。 駒ヶ根市のスポーツ行政の推進に大きく貢献。
5	イトウ　タイシ 伊藤　大志	早稲田大学4年	第30回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会において、長野県チームとして出場し、大会4連覇の偉業を達成。アンカーを務め、大会優勝に貢献。
6	カワカミ　ナミ 川上　南海	長野東高等学校1年	第36回全国高等学校駅伝競走大会において、同校選手として2区に出場し、全国優勝に貢献。
7	コマコウビー 駒工B	駒ヶ根工業高等学校	第32回全国高等学校ロボット競技大会において、各地区予選を突破した37都道府県96チームの中から文部科学大臣賞・優勝に輝いた。
8	コマコウエイ 駒工A	駒ヶ根工業高等学校	第32回全国高等学校ロボット競技大会において、各地区予選を突破した37都道府県96チームの中から準優勝に輝いた。
9	タケムラ　サダオ 竹村　定男	駒ヶ根市中沢	駒ヶ根市青少年育成員としてH26年度～R5年度の10年間在任。【中沢区】
10	ジュウニテン　モリ　マモ　カイ 十二天の森を守る会		１９９５年に福岡区の役員などを中心に発足し、間伐、橋のかけ替え、植生復活のための植樹などに取り組み、十二天の森の環境整備に努めている。

報告（1）

公民館長の任命について

社会教育法第２８条及び駒ヶ根市公民館条例（昭和５４年条例第２４号）第３条の規定により、下記の者を各公民館長に任命する。

令和７年２月２８日

記

1　氏名等

公民館	氏　　名	生年月日	年齢	住　　所
赤　穂	小松　民敏	[redacted]	[redacted]	[redacted]
中　沢	久保田之義	[redacted]	[redacted]	[redacted]
東伊那	春日由紀夫	[redacted]	[redacted]	[redacted]

2　任命年月日　　令和７年４月１日

3　任　　期　　令和７年４月１日から令和８年３月３１日まで

報告（2）

R7-2 定例教育委員会報告　　行事共催等承認申請一覧（専決分報告）

区分	受付番号	行事の名称	団体名	開催日	開催場所	承認	備考
後援	6-160	囲碁×謎解きオンライン脱出ゲーム	令和GO碁GO！	令和7年5月5日(月)	オンライン(Zoom)配信は富山県民会館	承認	
後援	6-161	第28回駒ヶ根市空手道選手権大会	空手スポーツ少年団	令和7年3月30日(日)	駒ヶ根市武道館	承認	
後援	6-162	令和7年度　倫理経営講演会	長野県伊南倫理法人会	令和7年5月21日(水)	駒ヶ根市アイパル3階	承認	
後援	6-163	クラブ員募集	イ～ナJr.ソフトボールクラブ	令和7年4月1日(火)～令和8年3月31日(火)	練習場所：伊那市内グラウンド	承認	
後援	6-164	華道如月会　第65回いけばな展	如月会	令和7年4月12日(土)、13日(日)	アルパ3階多目的ホール	承認	
後援	6-165	登戸研究所平和資料館会館記念「登戸研究所公開学習会」	駒ヶ根市立博物館	令和7年3月9日(日)	中沢公民館　基幹集落センター	承認	
後援	6-166	第1回にぎわいペアカップ	アンダーゴルフ協会カップイン・ワン	令和7年5月10日(土)	松川町町民体育館トレーニングルーム	承認	
後援	6-167	Spring　School	南箕輪村地域おこし協力隊	①令和7年3月15日(土)、16日(日)②令和7年3月27日(木)、28日(金)	①②南殿コミュニティーセンター	承認	
後援	6-168	令和7年度伊南子ども劇場　鑑賞例会（全5回）	伊南子ども劇場	令和7年6月1日(日)、9月14日(日)、11月22日(土)、令和8年1月18日(日)、3月16日(日)	未定（伊南市町村内）	承認	
後援	6-169	令和7年度伊南子ども劇場　低学年おやこキャンプ	伊南子ども劇場	令和7年6月29日(日)	駒ヶ根キャンプセンター	承認	
後援	6-170	令和7年度伊南子ども劇場　高学年キャンプ	伊南子ども劇場	令和7年7月26日(土)～28日(月)	阿南町二瀬キャンプ場	承認	
後援	6-171	令和7年度伊南子ども劇場　あそびじゅく	伊南子ども劇場	令和7年4月～11月月1回	東伊那の山林内	承認	
後援	6-172	令和7年度伊南子ども劇場　未就園児サークル「ぽけっとクラブ」	伊南子ども劇場	令和7年5月～令和8年3月　月1回程度	ふれあいセンター他	承認	
後援	6-173	令和7年度ワークショップ「伝統芸能を楽しもうあわおどり」	伊南子ども劇場	令和7年8月31日(日)	ふれあいセンター	承認	

共催　0 件
後援　14 件
協賛　0 件
14 件

（うち新規　0 件）

承認　14 件
不承認　0 件
協議中　0 件
14 件

その他（１）

令和７年２月28日
駒ヶ根市教育委員会

校長の離任と着任における教育委員の任務について

１　離　任（退任）・・・　卒業式当日における教育委員の業務

(1) 卒業式　　…　（「教育委員会告辞」）
~~(2) 職員への退任校長紹介　卒業式の後、職員室で行う　※必ずしも行わなくても~~
~~(3) PTA三役への退任校長紹介　校長室にて行う（ない場合も　各校の慣例に従う）~~
~~※PTA会長がお礼の言葉を述べる（なくても）~~
~~(4) 来賓への退任校長紹介　…　来賓への紹介、卒業式の後　来賓控室にて行う~~
(5) 離任式（教職員）　…　校長が紹介
離任式（校長単独）…　校長として他校へ異動の場合
~~教育委員が先導~~
~~式で児童・生徒への紹介（「教育委員会告辞」）~~
※退任式（退任校長）…　今年度末で校長職を終える校長が対象
教育委員が先導
式内で児童・生徒への紹介（「教育委員会が紹介」）

○　各校でやり方が違うと思われるので、その場の指示に従ってください
○　先導して再入場ではなく、離任式の一部として退任式を組む場合も考えられる
○　校長の紹介の後、児童生徒、保護者、職員のお別れの言葉があることが多い
（三者のお別れの言葉がないかもしれない）

２　着　任　・・・　入学式当日における教育委員の業務

(1)　ＰＴＡ三役への紹介　…　校長室にて入学式の前に行う
(2)　来賓への紹介　　…　来賓控室にて入学式の前に行う
(3)　着任式　　…　式場での先導
式で児童・生徒への紹介（「教育委員会告辞」）

【小学校】
(4)　始業式
(5)　入学式　　…　（「教育委員会告辞」）

【中学校】
(4)　入学式　　…　（「教育委員会告辞」）
(5)　始業式

３　その他

＊一般教職員の離任式に引き続き一連の流れの中で校長の離任（退任）式を行うことが多くなってきているので、あらためて入退場はしないこともある。
＊校長が教育委員の先導で登壇するか、壇上に残っていただいて教育委員が登壇するか、各校のやり方で変わってくると思われるので、その場の指示に従って動く。
＊コロナ禍以降、基本的には簡素化・時間短縮の方向で組まれている。